

告時間、議案の審議時間等を勘案の結果、本日と明日の二日間本会議をお願いし、その後における委員会の審査時間等を検討し、最終日を十二日とする十一日間とすることいたしました。

次に、全員協議会であります。理事者から申し出がありますので、議事の進行状況を考慮し、日程第九の議案審議終了後に開催することといたしました。

以上でございますが、議員各位の特段の御協力を賜り、本定例会の会議が円滑に運営されますようお願い申し上げます。

○議長(森田治男君) 以上で委員長の報告は終わりました。

お諮りいたします。

会期につきましては、ただいま委員長より報告されたとおり、九月二日から九月十二日までの十一日間と決定いたしましたと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって、会期は十一日間と決定いたしました。

○議長(森田治男君) 日程第三一般質問を行います。

一般質問につきましては既に通告されておりますので、通告の順に従い発言を許します。まず、五番赤星行人君。

(五番 赤星行人君登壇)

○五番(赤星行人君) 皆さんおはようございます。

御指名をいただきましたので、会議規則第八十六条の規定に基づきまして、先に通告済みの三項につきまして一般質問をさせていただきます。

常日ごろは、五万三千市民のため、市長初の全職員の御努力に対し敬意を表します。私の質問事項は、一、総合福祉センターについて、二、交通安全

対策について、三、駐車場についての三項目であります。以下順を追って質問いたしますので、市長及び担当部長に明快な御答弁をお願いいたします。

時の流れとともに人生八十年時代、超高齢化社会が現実のものとなっていきます。先日発表された厚生省の統計でも、日本人の平均寿命は、男性が七十四・八歳、女性が八十五歳と前の年よりもさらに延び、世界でもトップクラスの長寿王国と

なっています。三十年前に比べると、八十歳まで生きる人の割合は、男女ともに二倍となっています。長生きして人生を楽しく健康であることはとてもすばらしく結構なことではありますが、老後の生活の不安があるのも事実であります。高齢化社会の急速な進行の中で、我が福生市も現在六十五歳以上の方が六・四％、十年後には一三・四％になると予測されます。また、わんげ作業所も入所希望が多く受け入れ不可能な状態となり、運営委員会の一人として対応に苦慮しているところであります。

福生市社会福祉協議会編集の老人の暮らしと在宅福祉への提言等も指針とし先見性ある長期的視野に立って、社会福祉の最大拠点ともなるべき総合福祉センターの早期建設こそ市民の願いであると思います。実現に向け勇気と決断、実行されるようお願いをする次第でございます。検討委員会に伴う調査費についてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

交通安全対策について。

福生市においては、昭和五十八年三月交通安全都市宣言、また六十年四月は福生市交通安全対策協議会を設置し、昭和六十二年三月基本計画に、目標として人間優先、生活尊重の理念を基本に、市民の安全性、快適性、健康を考

慮しつつ整備促進に努めるとうたっており、福生市全体の市道は、昭和六十年四月現在実延長十二万五千メートル、実面積七万五千平方メートル、舗装延長十二万五千メートル、舗装面積六十八万平方メートル、未舗装面積二万五千平方メートル、舗装率九六・四％で、大変すばらしい実績であり、感謝する次第であります。

さて、道路整備についてであります。これから例を申し上げます。図書館通り幹Ⅱー一三号線、図書館より井上米屋さん付近まで、柳通り幹Ⅱー五号線、金万八百屋さんより井上米屋さんまでの通り、わらつけ街道幹Ⅱー四号線、志茂、加美平、田園地区等、U字溝のところが多くふたがない。あっても割れている。U字溝が壊れて排水の役割を果たしていない。段差があり大変危険で、自転車、歩行者の安全確保と地域の交通緩和を図るため、L型ふたかけを早急に考えて対策を講ずべきであると思います。美観上も好ましくないのでお考えをお伺いいたします。

駐輪場については、牛浜駅東口については大変御努力をいただき、念願の駐輪場ができて上がり、地域住民はもとより利用者からも感謝されているのであります。駅周辺で、特に牛浜駅西口、福生・梓島駅周辺の混乱は甚だしいものがあります。今までの経過とこれからの対策であります。民有用地買上げも検討すべきであると思いますが、

お考えをお聞かせください。

道路専用パトロールについてでございますが、さきに述べましたとおり、交通安全都市宣言にふさわしい道路にするためにも、住民の意識向上のためにも安全確保、また問題が発生した場合の緊急対応にもパトロール車による巡回を実施していただきたいと、ぜひとも六十二年度予算で御検討をお願いしたいと思います。

駐車場についてでございますが、市民会館駐車場の増設経過と今後の対策についてであります。このことについては昭和五十八年九月定例会議の席で一般質問としてあり、満三年を経過した今日まで何の進展も見受けられない。詳細にその後の増設の経過はどのようなになっているのかお聞かせいただきたいと思っております。

利用される方々のモラルの問題でもありますが、道路に違法駐車でレッカー車で撤去をされる場合も見受けられ、感情として駐車場があればと思つのが多くの考えでしょう。路上違法駐車しているところは児童の通学路でもあります。事故が起きてからでは遅いと考えます。外部より来館される方は、駐車場がないので地域住民の家の前に置くので、自分自身の車を出し入れすることができない現状をどううにお考えをお尋ねいたします。

以上、登壇による一般質問といたします。

（市長 田村匡雄君 登壇）

○市長（田村匡雄君） 赤星議員さんの御質問にお答えいたします。

第一点の総合福祉センターについてでございますが、一点、二点と一緒に答弁をさせていただきますのでよろしくお願いたします。

総合福祉センターについて。

現在、福祉部において検討が進められております。本年二月には品川区の総合福祉センターの視察を実施するほか、他市の状況を調査しているところでありますが、品川区を除きいずれも当市の現在の福祉会館と大同小異であります。今後の本格的な高齢化社会や増加する精神障害者への対応、またボランティア活動や相談サービスの充実など、将来を展望した総合的な社会福祉の中枢的拠点施設の機能を持ったものはなく、近隣では八王子、立川などがこの問題について研究を始めているところであります。

当市においては、福生市社会福祉協議会の在宅福祉の研究報告書にも指針が示されましたが、今後は各市の研究状況も十分把握しながら、福生市としてのあり方をま

とめていきたいと考えております。私は、比較的高水準の施設整備の当市にとっても、すべての市民が互いに手を取り合って生き生きと生きていくまちづくりを進めていくためには、総合福祉センターの建設こそが今後の最重要課題であると考えていますので、早期実現に向けて調査、研究をしていきたいと考えておりますので、よろしく御理解のほどをお願いいたします。

次に交通安全対策についてでございます。

道路整備についてですが、既に整備した市道の附帯施設のうち、し字溝のふたかけについては道路整備の進む過程で問題となり、通学路から一般市道にわたり、単独のふたかけ、舗装、打ち替え等におけるふたかけ等、年次計画により整備を進めてきたところではありますが、御指摘のように、ただ単に大ぶたを載せるだけの工事もあり、ふたが割れること、道路との段差ができること等、また新しい問題も生じております。

市道は御案内のように生活道路が中心であり、道路の幅員も比較的に狭く、できるだけ有効利用を図ることも必要ですので、最近における整備は、利用者に危険、負担もなく、道路幅員の有効利用が図れるように改修を進めております。しかしながら、このような補修整備は極めて広範囲にわたっており、今後も計画に沿

て進めてまいりたいと思います。なお、具体的な御質問については、部長から答弁をいたしますのでお聞き取りいただきたいと思います。

続きまして、駐輪場についてお答えいたします。

本件については大変に御心配をいただいている懸念事項でありまして、御指摘のとおり、駅周辺における交通安全上はもとより美観上からも残念な状況にあり、心配をされているところでございます。早く解決を図らねばならないということは、十分に承知しておりますのでございます。

基本的には、関係部課の調整会議を踏まえさせて決めた駐輪場計画に基づいて施策を進めております。しかしながら、何れも必要な土地の確保がなかなかできないというのが実情であります。他の駅ということですが、福生駅周辺を例にとりますと、議会にも御相談申し上げ国鉄用地を確保いたしました、職員によって整備した奈賀踏切に近い都道沿いの駐輪場も、利用効果が上がっていない状態でありまして、まさに残念であります。

そこで、効果を上げるには何としても東口へ用地の協力を求め、駐輪場を設置の上、条例を制定して規制区域を定めるなどして、徹底を図ることが必要であります。これ

ができればと願っているところでございます。つまり、根本的解決は説得力のある位置での駐輪場の設置と、条例によって規制が不可欠であります。そしてそれには用地確保が先決ですが、これが困難というジレンマがありまして、御心配、御指摘につながってしまうのであります。

いずれにいたしましても、解決方法はこのようにわかっておりますので、今後とも用地の色に努めてまいる所存で、これが可能になったところから議会にも御相談いたしますので、何とぞよろしくお願いいたします。

次に、道路専用パトロール車について御答弁申し上げます。

確かに道路整備状況はほぼ達成されたわけでありますが、十二万五千メートルもの路線延長からは、さまざまな出来事が毎日どこかで発生しております。したがって、これらの出来事に道路管理者として迅速に対応できるよう、今後は御指摘のとおり道路パトロールを実施してまいりたいと思っております。

なお、パトロールするにはそれにふさわしい専用車が必要になると思われませんが、昭和六十二年度において道路管理上の公用車の購入を予定しておりますので、その際、道路パトロール車にふさわしいような各種装備を施し、市民広報を兼ねた道路パ

トロール専用車として、市民が安心して生活を営むことができるように活用してまいりたいと思っております。

次に、駐車場についてでございます。

市民会館駐車場の増設経過と今後の対策についてでございますが、再度御質問いただきました大変に恐縮でございます。御案内のように、牛浜地区には市民会館、公民館を初め福祉会館、野球場などの施設を設置させていただいております。市といたしましても、この施設を活用し多くの事業を実施するとともに、数多くの市民の方々に利用をいただいております。

御指摘のように、十分に満足していただけるだけの駐車場スペースがございませんので、催し物など競合しますと付近の方々に何かと御迷惑をかけ申しわけなく思っております。こうした状況も多少でも解決すべく現在ある駐車場を高層化をして、と考えましたが、用途地域上の関係から高層化することはできません。また施設の近くの用地確保にも努力をしておりますが、まことに申しわけありませんが、現在のところ思うに任せない状態でございますが、今後も粘り強く施設の近くの用地確保に努力をしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

答弁にかえさせていただきます。

○建設部長（森田進君） 自席からお許しをいただきまして、ただいまの市長の答弁の補足をさせていただきます。

交通安全対策についてでございますけれども、そのうちの道路整備の中で、具体的に三つの道路についての御質問でございます。一つは図書館通り、それからそれに延長いたします柳通り、それからわづつけ通りの三本についての御質問を思いますが、いずれも幅員が六メートルの道路でございます。一部道路については既に、今市長が申し上げましたこれからの整備に当たった形での改修が終わっている部分もございますが、御指摘いただきましたように、し字溝のふたかけというような形では既に済んでいるわけでございますけれども、なかなかふたが比較的弱いと申しますか厚みのない溝ぶたであったり、あるいは路面との段差が非常にっていると、そういうふうな問題で、非常に利用者には不便をかけているようにございます。

いずれにいたしましても全体の中で整備を進めるわけでございますが、これらの道路につきましても、できるだけ早い時期に解消していきたいとそうふうに考えております。

それから、駐輪場に対する交通経過というふうなことで、御質問があったかと思いますが、駐輪場の関係につきましては、御案内のように毎年、毎年、行政需要と申しますか課題になってきているわけでございますが、駅周辺に施設をつくりなくてはならない、そういうふうな問題がありまして、なかなか具体的に進んでいないのが現状でございます。

ちなみに牛浜駅の西口に例をとりますと、西口の駅前については現在駅前広場でございますけれども、これは国鉄用地でございます。既に五十九年度に国鉄用地を、何とか現状の放置自転車の問題を解決すべく立体的な駐輪場を整備したいと、そういうふうなことで、梓島保線区を通じましてかなり話を進めたわけでございますが、梓島保線区の段階では、一応現在の駅広の中へ立体的な駐輪場をつくるというふうなことは了解をもらえたわけでございますが、この管理をしております東京西鉄道管理局へ書類が上がった段階で、なかなか駅広機能を損うような形での立体的な施設については好ましくないと、そんなふうなことが理由で却下された経緯がございます。それが今国鉄の内部事情等がございまして、現在まだその後進んでいないと、そういうふうな状況でございます。

この段階では、あの土地について借りるとそういうふうなことを一応前提にしての用地交渉を持ったわけでございますが、そういうふうな経過がありまして、大変何か利用する市民の方には御迷惑をかけているわけでございますが、現況としてはそんな経過をたどりまして現在に來ていると、そういうことでございます。

それから、福生駅の東口の關係でございすけれど、これにつきましても再三御質問あるは御指摘をいただいている点でございすすが、なかなか地主交渉等がはかばかしくないと、それが現況でございまして、毎年毎年機会をとらえていろいろお願いしているわけでございすすが、なかなか進んでいないと、そういうふうなことが現況でございす。特に東口については、たまたま区画整理で整備いたしました公園等がございまして、公園等の並行利用と、そんなふうなことも一応検討してみただけでございすすが、なかなか面積的にも現在の放置されている自転車の収容能力、そういうものが賄い切れそうもないと、そんなふうな判断に立ちまして、やはりこれにつきましては新しく用地を求めて立体的な整備をしていかなければいけないだろうと、そんなふうな考えております。

それ以外にも市内の駅があるわけでございすすが、特に今の二つの点については今まで

の経過がありますので、御報告とさせていただきます。

以上でございす。

○五番(赤星行人君) それでは自席より再質問をさせていただきます。

ただいま市長より三項目につきまして明快な御答弁をいただきまして、大変ありがたいでございます。

そこで、総合福祉センターについてまず第一点。市長からの御答弁の中で、総合福祉センターについて早期実現に向け努力をするという大変ありがたいお言葉をもちよういただいたわけでございすすが、私はたまたま昭和六十五年、福生市が市制二十周年を迎えるわけでございす。そこで、やはり市民がいろんな形で待ち望んでいるこれに向けて、やはり目標を定めてやるべきではないかなと。ちやうど二十周年になります六十五年という一つの区切りと申しますか、そういう意味から、二十周年に向けてひとつ不返転の決意でやるんだというふうなお気持ちで、市長お持ちであるうかと思うんですが、私自身そういうふうなことでぜひお願いを申し上げたいわけです。これについて市長のお考えを、ひとつもう一度伺いさせていたいただきたいと思ひます。

それから検討委員会でございますけれども、六十五年度、二十年を目標に、二十周年に向けてやるんだということになれば、検討委員会はおのずから早くやるなければならぬということになるかと思うます。検討委員会の内容については、いろいろ私が申し上げるまでもなく、各種団体だとかいろいろな方々の集まりによってやるべきじゃないかと思うんですが、この辺の考え方ですね、いつの時点におやりになりたいのか、またどういうお考えなのか、この辺をあわせてお聞かせいただきたいと思ひます。それから、道路整備についてはいろいろと市長からお話がございました。それでこの道路というのはやはり生活道路であるというようなことでございしますので、私も最もそれは同感でございます。これにつきましては、わらつけ街道緒方興業から法務局通り、両サイドの側溝ふたかけですね、特に緒方興業から私どもの通りはおかげさまで非常にきれいになったわけです。ところが逆に緒方興業からわらつけ公園がございしますあの沿線、要するに原ヶ谷戸町会を通りながら行く両サイドですが、大変状態が悪い。これはいすれ多分おやりになるのであろうと思ひますが、ふたの段差が非常にございします。私も生活道路ですからよく自転車であそこを利用するんですが、市民の方々からあの辺は非常に危ないと、危険である

と。特によけようと思つてもふたが出張っているんでどうもよけにくいというようなこともございます。この辺も含めて、特にまた一六号線が現在ああいう工事中でございしますので、わらつけ街道の方をどうしても知ってる方は利用する方が大変多くなりました。その辺も含めて御検討いただくならば大変ありがたいなと――。

それから、わらつけ街道の延長の市道がございします。一〇二八号でございします。これは貫通道路計画の早期実現の要望というのが六十五年度に出されております。出した方は、目白病院の開設者でございします長谷川様ほか三名から提出されておるわけですが、このその後の経過をちょっとお尋ねいたしたいと思ひます。

それから駐輪場でございますけれども、これは牛浜駅の東口については、冒頭登壇いたしました御礼申し上げましたように、本当に御努力いただいたおかげででき上がったわけですが、後の駅の周辺、ただいま部長から御答弁いただいた人ですけれども、用地確保が非常に大変であるということでございます。これは私もよくわかります。

しかしながら、やればできるんだという基本的な考え方、この辺をひとつぜひしっかりと腹に決めていただいて対処してもらいたいと思ひつんです。ということは、牛浜駅

の東口ができたということは、やはりやればできるという一つの証しだと私は思っています。ですから用地確保が非常に難しいということでも、相手を説得する場合、私どもは民間企業人ですから民間企業としての努力をする場合にやはり生活がかかっているから一生懸命やるわけです。ですからその辺をもう一步、二歩前進していただいて、ぜひひとつ用地確保には全力を挙げていただきたい。これをひとつぜひお願いをするわけですが、ひとつもう一度、その辺の意志を確認する意味で御回答いただきたいと思ひます。

それから、道路パトロールについては、新しく公用車を六十二年度購入する場合に善処するというところでございます。検討しながら、購入する車をそういうようなことにして使いたいというところでございます。大変ありがとうございます。

私は、市民が安心して生活道路として使えるためには、やはりパトロール車があった方が、また道路専用パトロール車という名称にするかどうかこれは行政サイドの考えですが、私はそういうものを完全に明記して、そして何て言うんですか、パカパカ、パトロールカーじゃないんですが、やはりそういう形で、例えば路上不法駐車しておればちやうと拡声器で——そこは警察の問題にもなるかと思ひますが、

それくらいの考え方でひとつぜひ前向きに頑張っていただきたいと思ひます。これについては恐らく他市も道路パトロールをやっているところがあるかと思ひます。この辺の状況、近隣の状況をひとつ伺いたしたいと思ひます。

それから駐車場でございますが、これは私五十八年度に、実は九月に本会議で強くお願いした経緯がございます。それで三年たちました。三年たったけれども依然として全く同じでございます、残念な限り。

それで私がなぜこの問題を提起するかということ、私どもはたまたま隣組と書いていくうちに市民会館、野球場、福祉会館、大変いろんな形で利用させていただいております。そして、たまたま私は市民会館、福祉会館、野球場等にも伺うわけですが、市民会館の石川館長以下職員の方々が、「駐車は御遠慮ください」という立て札が立っている所へ——やはり市民の方はわかってないわけです、外部から来た方は。やはり車を不法駐車するわけです。そうするとそれを一々、そこは困るから立ち退いてくださいというふうなことで、非常に職員の方がお骨折りをいただいて、また道路が五日市街道だとかそれから三小通りというのかな、あの通りですね、あの通りももう本当にべったり——現地を御覧になったかどうか

りませんが、大変なものです。もう、だめと並んでるんです、車が。これを立ち退けったってこれは無理な話なんです、駐車場がないんですから。

ですからこの辺をどうにか考えにしているのか。私は、職員の本来的目的はやはり別にあると思うんです。もちろん駐車場の管理も大事だと思うんですけれどもその辺が、大変職員の方はそういうことで大概二、三人出て整理をすけれどもその辺が、大変職員の管理も大事だと思うんです。交通整理もその一端かも知れませんけれども、あえて私はその辺を申し上げるわけですが、その時間があればほかの仕事ができるのではないのかなあと。交通整理もその一端かも知れませんけれども、あえて私はその辺を申し上げるわけですが、それで、用途変更ということで、用途の地域だということで、五十八年にやれるということで、実は私も非常に期待してました。二百五十台収容できるような駐車場ができる。ところが実際にふたをあけてみまじたり、用途地域であるからできない。私も非常に、結果論でいいますけれども、やろうとするからには横連携——役所というのは縦社会ですから、そういう欠陥が出たのかなと思うんですが、やはり横連携をとりながら、一つのことをやるからには私はやはりひしっと話し合いをして、そしてこれならいけるということになり出発すべきではないかと、五十八年の九月からの経緯を考えてみると、そう思うわけですね。

そのときに、市長の御答弁はこういうことになっているんです。「前向きに検討して

まいりたいと考えております」という——私は一期生でたまたま入ったときに、議会用語弁用語というのを知らなかったわけです。前向きというのは一体どういう意味なのか。ところが、いろいろと先輩諸氏や周りの方に伺いましたら、前向きという言葉は非常にすばらしい絶対やるんだというふうな方にお話があったわけです。

これはしめたなと実は思ったわけです。ところが三年たちまして一向に芽が出てきませんので、この辺のところをひとつもう一度お尋ねさせていただきます。お願いいたします。

○市長（田村匡雄君）

自席からお許しをいただきます。答弁をさせていただきます。

総合福祉センターの件でございますけれども、確かに赤星議員さんのおっしゃるように、二十周年記念事業として私も何かやらなければならぬということは考えておるわけでございまして、それに向けて福祉センターは非常に当を得ているものと思っているわけでございます。

しかし、現在御案内のように福生市では用地が非常に不足しております、この用地の確保、この件が今努力しているところでございまして、できるだけ六十五年に向けて完成するように、また用地の確保を急いでいるということが現状でございます。